



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 神戸電鉄株式会社

コード番号 9046 URL <https://www.shintetsu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井波 洋

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部部長 (氏名) 坂本 義之 TEL 078-576-8671

半期報告書提出予定日 2025年11月12日 配当支払開始予定日 ー

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	11,465	4.6	1,566	21.5	1,277	18.0	881	12.5
2025年3月期中間期	10,965	0.4	1,289	11.4	1,082	17.4	783	3.8

（注）包括利益 2026年3月期中間期 978百万円（36.2%） 2025年3月期中間期 718百万円（△23.9%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	111.44	ー
2025年3月期中間期	97.47	ー

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	90,637	24,358	26.9
2025年3月期	90,680	23,539	26.0

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 24,358百万円 2025年3月期 23,539百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	ー	0.00	ー	20.00	20.00
2026年3月期	ー	0.00			
2026年3月期（予想）			ー	20.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,770	2.9	2,230	11.2	1,590	0.1	1,110	△3.5	140.29

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	8,061,566株	2025年3月期	8,061,566株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	149,655株	2025年3月期	149,148株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	7,912,203株	2025年3月期中間期	8,034,370株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページにも掲載することとしています。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、景気の緩やかな回復基調が続いているものの、米国の関税政策や不安定な国際情勢による先行き不透明感が強まるとともに、物価上昇の継続によって個人消費が停滞する状況で推移しました。

この間、当社グループにおいては、各部門において増収やコストの削減に努めた結果、当中間連結会計期間の業績は次のとおりとなりました。

すなわち、営業収益は11,465百万円となり前年同期に比べ500百万円(4.6%)増加、営業利益は1,566百万円となり前年同期に比べ277百万円(21.5%)増加、経常利益は1,277百万円となり前年同期に比べ195百万円(18.0%)増加、親会社株主に帰属する中間純利益は881百万円となり前年同期に比べ98百万円(12.5%)増加しました。

当中間連結会計期間のセグメント別の概況は次のとおりであります。

運 輸 業

鉄道事業においては、「安全の絶対確保」を図るため、安全管理体制のさらなる整備・充実に取り組んだほか、国や自治体の補助制度を活用しながら、軌道の強化や電気設備の更新工事を推し進め、運転保安度の一層の向上に努めました。また、現在進めております有馬口駅ホームのスロープ化につきましては、下り線が2025年8月に完了し、引き続き上り線の工事を2025年度末の完成を目指して進めております。

営業活動については、当社沿線のお出かけに便利な企画乗車券「有馬・六甲周遊1 dayパス」「おもてなしきっぷ」等を発売したほか、2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)の開催や神戸空港の国際線就航にあわせ、二次元コードを活用したデジタル乗車券を発売するなど、旅客誘致に努めました。また、2025年3月から実施しています「神戸電鉄ウルトラプロジェクト」におきましては、「ウルトラマン」とのコラボグッズの販売のほか、神鉄グループ採用強化キャンペーン「ウルトラ大作戦」として、特別ラッピング列車を運行しております。

神戸市との連携事業では、地域との交流を通じた駅周辺の活性化を図る「神鉄沿線モヨウガエ」やアウトドアを通じた地域活性化を図る「KOBE Rail&Trail」を推し進め、当社沿線の魅力発信に努めました。

バス事業においては、企業や学校の貸切送迎業務の継続的な営業活動を展開するなど、増収に努めました。

タクシー業においては、神戸市北区唐櫃台地域において地域コミュニティ交通「からとんくるりんバス」の本格運行を開始するとともに、配車アプリの活用や乗務員の採用に注力するなど、収益の拡大に努めました。

これらの結果、当中間連結会計期間の運輸業の営業収益は7,040百万円となり、前年同期に比べ558百万円(8.6%)増加し、営業利益は1,161百万円となり、前年同期に比べ410百万円(54.6%)増加しました。

不 動 産 業

土地建物賃貸業においては、2025年4月に取得した新規物件(大阪府摂津市)が収益に寄与したほか、当社が保有する賃貸物件へのテナント誘致に努め、収益の拡大を図りました。

また、管理受託業務においては、神戸市及び神戸市道路公社から管理運営業務を受託している「神戸市立三宮駐車場(神戸市中央区)」他5施設について、円滑な運営に努めるとともに、2025年4月より新たに神戸市道路公社から「箕谷駐車場(神戸市北区)」の管理運営業務を受託しております。

これらの結果、当中間連結会計期間の不動産業の営業収益は1,013百万円となり、前年同期に比べ31百万円(3.2%)増加し、営業利益は394百万円となり、前年同期に比べ70百万円(15.1%)減少しました。

流 通 業

食品スーパー業においては、青果部門を中心とした生鮮部門の品揃えを強化するとともに、ご当地フェア等の集客策を実施するなど、販売促進策を各店舗で積極的に展開しました。また、移動スーパー「とくし丸」の顧客開拓を精力的に行うなど、収益の拡大に努めました。

コンビニ業においては各店舗で販売促進策を実施するとともに、飲食業においてはケンタッキーフライドチキン 武庫之荘駅前店(兵庫県尼崎市)のリニューアル工事を実施するなど、増収に努めました。

これらの結果、当中間連結会計期間の流通業の営業収益は2,646百万円となり、前年同期に比べ7百万円(0.3%)減少し、営業利益は17百万円となり、前年同期に比べ42百万円(71.2%)減少しました。

そ の 他

保育事業及び健康事業においては、駅に近接する各施設の強みを活かしてご利用者の増に努めました。なお、神戸市東灘区のスイミングスクールは施設改修調査等のため休業しております。

建設業においては、当社グループ外からの受注拡大に努めました。

引き続き、当社沿線のお客様のニーズに応じたサービスの充実に努めてまいります。

これらの結果、当中間連結会計期間のその他の営業収益は1,440百万円となり、前年同期に比べ13百万円(0.9%)減少し、営業損失は19百万円(前年同期は営業利益0百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の総資産は、流動資産が減少したこと等により前連結会計年度末に比べ43百万円減少の90,637百万円となりました。

当中間連結会計期間末の負債は、買掛金が減少したこと等により前連結会計年度末に比べ863百万円減少の66,278百万円となりました。

当中間連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する中間純利益の計上に伴い、利益剰余金が増加したこと等により前連結会計年度末に比べ819百万円増加の24,358百万円となり、自己資本比率は26.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月13日発表の業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,054	1,722
売掛金	1,586	1,672
短期貸付金	21	22
販売土地及び建物	230	230
商品	120	127
貯蔵品	479	558
その他	1,671	539
流動資産合計	5,163	4,874
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	39,114	38,827
機械装置及び運搬具(純額)	4,845	4,602
土地	35,485	35,714
建設仮勘定	404	708
その他(純額)	489	482
有形固定資産合計	80,340	80,335
無形固定資産		
その他	806	774
無形固定資産合計	806	774
投資その他の資産		
投資有価証券	1,824	2,093
長期貸付金	173	165
退職給付に係る資産	1,937	1,975
その他	452	436
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	4,370	4,653
固定資産合計	85,516	85,763
資産合計	90,680	90,637
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,963	1,001
短期借入金	21,847	20,446
未払法人税等	385	424
前受金	290	709
賞与引当金	51	58
その他	2,784	2,992
流動負債合計	28,323	25,632
固定負債		
長期借入金	32,588	34,522
繰延税金負債	627	711
再評価に係る繰延税金負債	3,559	3,559
退職給付に係る負債	95	86
長期末払金	549	434
長期預り保証金	908	906
その他	488	424
固定負債合計	38,817	40,645
負債合計	67,141	66,278

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,710	11,710
利益剰余金	9,768	10,491
自己株式	△391	△392
株主資本合計	21,087	21,809
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	739	865
繰延ヘッジ損益	△0	—
土地再評価差額金	1,382	1,382
退職給付に係る調整累計額	330	300
その他の包括利益累計額合計	2,451	2,548
純資産合計	23,539	24,358
負債純資産合計	90,680	90,637

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業収益	10,965	11,465
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	8,401	8,513
販売費及び一般管理費	1,274	1,386
営業費合計	9,676	9,899
営業利益	1,289	1,566
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	22	27
有価証券売却益	33	27
雑収入	46	15
営業外収益合計	103	72
営業外費用		
支払利息	293	335
雑支出	16	26
営業外費用合計	310	361
経常利益	1,082	1,277
特別利益		
固定資産交換差益	425	—
工事負担金等受入額	7	29
特別利益合計	432	29
特別損失		
工事負担金等圧縮額	432	29
特別損失合計	432	29
税金等調整前中間純利益	1,082	1,277
法人税、住民税及び事業税	257	360
法人税等調整額	41	35
法人税等合計	298	395
中間純利益	783	881
親会社株主に帰属する中間純利益	783	881

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	783	881
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38	126
繰延ヘッジ損益	△0	0
退職給付に係る調整額	△26	△29
その他の包括利益合計	△64	96
中間包括利益	718	978
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	718	978
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

セグメント情報

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	中間連結 損益計算書 計上額 (注)3
	運輸業	不動産業	流通業	計				
営業収益								
(1) 外部顧客への営業収益	6,473	891	2,647	10,012	953	10,965	-	10,965
(2) セグメント間の内部営業収益 又は振替高	9	91	5	106	500	606	△606	-
計	6,482	982	2,653	10,118	1,453	11,572	△606	10,965
セグメント利益	751	464	59	1,275	0	1,275	13	1,289

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保育事業及び健康事業並びに建設業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額13百万円は、主にセグメント間取引であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	中間連結 損益計算書 計上額 (注)3
	運輸業	不動産業	流通業	計				
営業収益								
(1) 外部顧客への営業収益	7,032	918	2,638	10,589	876	11,465	-	11,465
(2) セグメント間の内部営業収益 又は振替高	7	95	7	110	563	674	△674	-
計	7,040	1,013	2,646	10,700	1,440	12,140	△674	11,465
セグメント利益又は損失(△)	1,161	394	17	1,574	△19	1,554	11	1,566

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保育事業及び健康事業並びに建設業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額11百万円は、主にセグメント間取引であります。

3. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。